



# 久米島町立学校等適正規模・適正配置検討状況



教育委員会だより

10月29日(水)に久米島町立学校等適正規模・適正配置検討審議会の第2回目検討審議会を開催しました。少子化に伴い児童生徒数が減少している現状を踏まえ、子どもたちにとってより良い学習環境について以下のことを議題として協議しました。

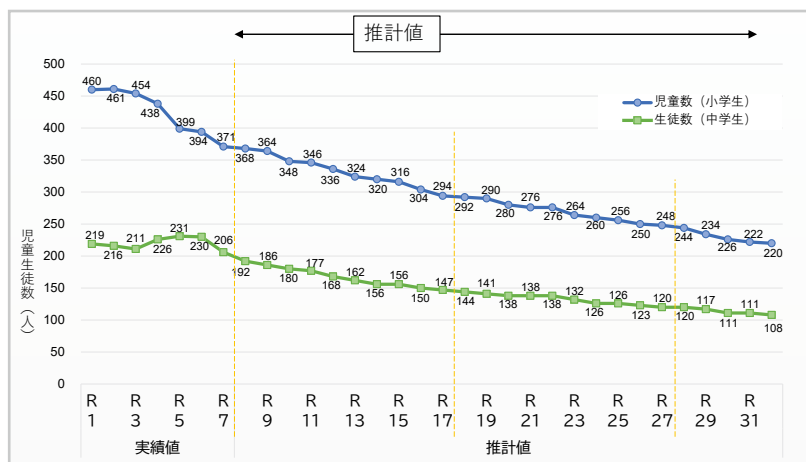
- 1 本町が目指す教育について
- 2 先進事例調査について
- 3 学校教育施設の現状について
- 4 学校の適正規模・適正配置の検討について

検討審議会の資料は  
久米島町公式ホームページで  
ご覧いただけます



## 児童生徒数の推移

推計の結果、本町の公立小中学校に通学する児童・生徒数は減少傾向にあり、25年後の令和32年(2050年)には児童220人(371人→151人減)、生徒108人(206人→98人減)となることが予測されています。



## 子どもの学びを応援する支援体制

### 第2回目 小中アシスト相談員配置事業及び相談員の取組紹介



特別支援教育支援員(12月号広報)に引き続き、今回は小中アシスト相談員配置事業及び相談員の取組を紹介します。

### 小中アシスト相談員の役割

島内の2中学校を拠点校とし、各1名を小中アシスト相談員として配置し、各中学校校区内にある小学校も支援対象としています。アシスト相談員は学校教職員と連携し、不登校児童生徒が登校できるよう主に以下の業務を行っています。

- (1) 家庭訪問や電話連絡などの登校支援。必要に応じて学校への送迎も行います。
- (2) 学校教職員らと連携し、課題を抱える児童生徒の立ち直り支援。教育相談、進路相談等を行うほか、球美中学校では校内自立支援室と連携して、登校や学級復帰の支援を行っています。
- (3) 校内外の関係機関と連携した居場所づくり(よんなあ教室との接続)。
- (4) 学習・体験活動等の支援。

令和4年度より沖縄振興特別推進交付金を活用し、小中アシスト相談員を配置し、令和7年度は久米島西中学校と球美中学校を拠点校に2名の相談員が業務を行っています。業務の実施に当たり、保護者はもとより地域の皆さんの協力が必要となりますので、今後ともよろしく願います。

お問い合わせ 教育委員会 ☎985-2770